

### 2014年の天候

2月と8月後半から9月にかけて及び12月は、気温が平年より低くなりました。それ以外は、平年より気温がやや高くなる時が多く、年平均気温は14.3とほぼ平年並みになりました。年降水量は、2月の南岸低気圧、6月の上層寒気、10月の2週続けての台風による大雨の影響で平年より190mm近く多くなりました。一方、3月から8月にかけては高気圧におおわれて晴れる日が多かったことから、年間の日照時間は昨年を引き続き平年より16%程多くなりました。

2014年の気象観測値(日立市役所)

項目	2014年	2013年	平年値
平均気温( )	14.3	14.4	14.1
降水量(mm)	1637.0	1233.5	1444.6
日照時間(時間)	2242.1	2236.5	1929.1

平年値(1981～2010年の30年間の平均)

### 昨年に引き続き寒い冬

冬型の気圧配置になることが多く、2月にかけて平年より気温が低い日が多くなり、3年連続の寒冬となりました。2月5日には市役所で最低気温が-5.4まで下がり、昨年に続いて2006年以来の強い冷え込みでした。

### 2月、2週続けて南岸低気圧による荒天

9日と15日、本州南岸を低気圧が発達しながら北東へ進み、関東地方では積雪が30cmを超える大雪となりました。日立市役所でも9日の積雪が13cmと、観測開始以来4番目に多い記録になりました。15日は、低気圧が関東地方南部を通過したことから、日立市では雪から雨に変わり、市内の降水量は100～170mmになりました。

### 5月～7月、寒気による不安定な天気

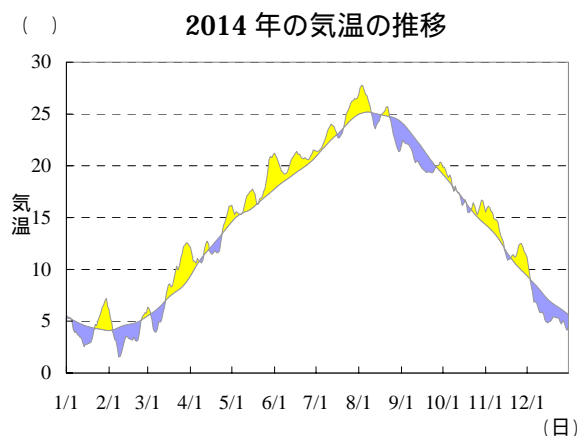
偏西風が日本付近で南北に蛇行し、上層に寒気が入りやすくなって雷やにわか雨が多くなりました。5月9日には、雷とともに直径8mmのひょうが降りました。6月は1mm以上の降水日数が17日となり、月の降水量は254.0mmと平年の1.5倍になりました。

7月は、18日に諏訪広場で1時間に34.5mm、27日に南部支所で1時間に22.0mmの降水量を記録するなど、局地的な大雨がありました。

### 10月、2週続けて台風が関東地方を通過

2週続けて台風が上陸し、6日には台風第18号が、14日には台風第19号が関東地方を通過しました。二つの台風とも関東地方へ近づいてきたときは勢力が衰えていたため、日立市では大きな被害はありませんでした。しかし、台風第18号の東側を北上する湿った空気の影響で日立市役所では170mmの大雨となったことから、10月の降水量は225mmと平年の1.3倍になりました。

### 2014年の気温の推移



### [2014年の主な気象記録]

- 最高気温: 36.3、8月5日
- 最低気温: -5.4、2月5日
- 最大日降水量: 142.5mm、2月15日
- 最大風速: 13.8m/s、2月15日
- 最大瞬間風速: 24.7m/s、2月15日

日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送(ケーブルテレビ5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話22-5520 IP電話050-5528-5066へどうぞ。